

関係各位

大阪府環境農林水産部農政室長

病害虫発生予察情報について

標記について下記のとおり発表したので送付します。

病害虫発生予察注意報第2号

- 1 病害虫名 ベと病
- 2 発生作物 たまねぎ
- 3 発生地域 大阪府内全域（特に泉州地域）
- 4 注意報発令の根拠
 - (1) 2月下旬のたまねぎの巡回調査(泉州地域)では、べと病の発生が平年より早く進行し、2月下旬の平均発病株率が4.0%(平年値(平成21年～30年)0.2%)と、平年値を大きく上回った。また、べと病が大発生した平成28年(2月下旬発病株率0.0%)と比較しても、上回っている。
 - (2) 2月21日現在の大阪管区気象台の1か月予報では、向こう1か月の気温が平年に比べ高くなる確率が70%、特に2月23日～3月1日の気温が高くなる確率は70%、3月2日～3月8日が同様に80%、3月9日～3月22日が同様に50%と、極めて高い。一方降水量についても、向こう1か月、平年並みの確率が40%、多くなる確率が40%と、予報されており、べと病の感染好適条件が長時間持続すると見込まれる。
- 5 ベと病の生態と被害等
 - (1) 主に葉に感染し発病する。たまねぎの他、ねぎ、わけぎなどに発生する。
 - (2) 越年罹病株で形成された胞子から感染し、春期に発生する二次感染株は、気温が15℃前後で、雨や曇りの日が多いと増加する。特に、3月中下旬から5月上旬にかけて曇雨天が続くと、発生が多くなる。
 - (3) 二次感染株の病斑は、黄色で大型の長卵形から楕円形をした病斑を生じることが多く、病斑上に、白または暗紫色のかびが生えることが多い。他にも種々の形態が見られ、適温(15℃前後)の降雨時には、葉色には変化がなく、突然かびを生じることがある。
- 6 防除対策
 - (1) ほ場の状況をよく観察し、適期に防除する。
 - ・発生を認めたら、下記の薬剤を散布する。
 - ・現在発生のないほ場でも、周囲のほ場の様子をよく見て必要に応じ下記の薬剤を散布する。
 - ・薬剤により使用時期が違うので、ラベルをよく読んで適期に散布する。
 - (2) 同一薬剤の連用を避ける。特に、**QoI**殺菌剤、**CAA**殺菌剤、**フェニルアミド**系は耐性菌が発生しやすいため連用は避ける。これらの剤を使用したにもかかわらず発生が多いほ場では、耐性菌の発生が疑われるので、他系統の薬剤を使用する。
 - (3) 薬剤を散布する時は、周囲に飛散しないよう注意する。
 - (4) 以下の薬剤を参考とする。

薬剤名	系統 (FRAC)	希釈倍数	使用時期／ 使用回数	備考
ジマンダイセン水和剤 ペンコゼブ水和剤	ジチオカーバメート系 (M3)	400～ 600 倍	3 日／5 回	予防 (注 1)
ダコニール 1000	クロロニトリル (M5)	1,000 倍	7 日／6 回	予防 (注 2)
ランマンフロアブル	QiI 殺菌剤 (21)	2,000 倍	7 日／4 回	予防
ピシロックフロアブル	その他 (U17)	1,000 倍	前日／3 回	予防
ベトファイター 顆粒水和剤	CAA 殺菌剤 (40) + その他 (27)	2,000 倍	7 日／3 回	予防・治療 (注 3)
リドミルゴールド MZ	フェニルアミド系 (4) + ジチオカーバメート系 (M3)	1,000 倍	7 日／3 回	予防・治療 (注 1)
メジャーフロアブル	QoI 殺菌剤 (11)	2,000 倍	前日／3 回	治療
プロポーズ顆粒水和剤	CAA 殺菌剤 (40) + クロロニトリル (M5)	1,000 倍	7 日／3 回	予防・治療 (注 2、注 3)
ダイナモ顆粒水和剤	QiI 殺菌剤 (21) + その他 (27)	2,000 倍	3 日／3 回	治療
ザンプロ DM フロアブル	CAA 殺菌剤 (40) + QoSI 殺菌剤 (45)	1,500～ 2,000 倍	7 日／3 回	治療
アミスターオプティ フロアブル	QoI 殺菌剤 (11) + クロロニトリル (M5)	1,000 倍	7 日／4 回	予防・治療 (注 2)
ホライズンドライ フロアブル	QoI 殺菌剤 (11) + その他 (27)	2,500 倍	3 日／3 回	予防・治療

注1 ジマンダイセン水和剤、ペンコゼブ水和剤、リドミルゴールド MZ に含まれる成分マンゼブの総使用回数は、5 回以内なので注意する。

注2 ダコニール 1000、プロポーズ顆粒水和剤、アミスターオプティフロアブルに含まれる成分 TPN の総使用回数は、6 回以内なので注意する。

注3 ベトファイター顆粒水和剤、プロポーズ顆粒水和剤に含まれる成分ベンチアバリカルブイソプロピルの総使用回数は 3 回以内なので注意する。

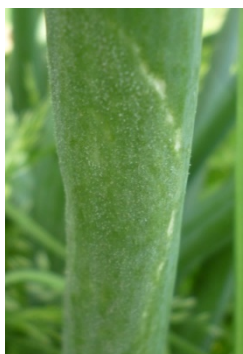


図 1 ベト病の被害葉
発生初期の霜状のかび

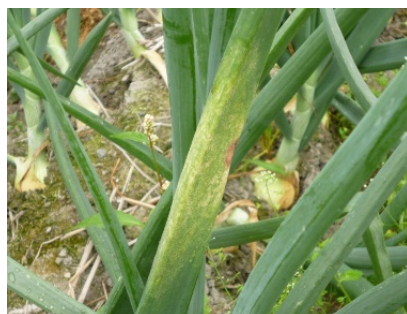


図 2 ベト病の被害葉
黄色で楕円形の一般的な病斑



図 3 ベト病の被害葉
蔓延の原因となる暗紫色のかび

【参考】防除薬剤に関するホームページ

●Web 版大阪府病害虫防除指針

(<http://www.jpnp.ne.jp/osaka/shishin/shishin.html>)

●農林水産消費安全技術センター 農薬登録情報提供システム

(http://www.acis.famic.go.jp/index_kensaku.htm)

